



ブックカバー製品紹介と方法

岡部 健一

I. はじめに

当社はドイツなどの欧米諸国から、図書を保護するフィルムを中心に、図書補強・補修用品などの輸入販売を行っています。またその製品を使用した図書装備業務をはじめ、蔵書データの作成など、図書館運営全般にまつわる業務も受託しています。

II. ブックカバーの貼り方

この文章をお読みになっている方は、図書館もよく利用されると思います。今ではほとんどの公共図書館の蔵書の表紙にはフィルムが貼り付けてありますが、気付かない方がけっこうおられます。図書館の蔵書は不特定多数の方が利用されるため、汚れや破損の防止などのために、ブックカバーの貼り付けは当たり前のことになっているのです。

図書館蔵書のブックカバーは気付かれないほどうまく密着されていますが、この貼り付け作業はすべて手作業によります。日本で発売されている本はサイズがさまざまで、しかもカバーや帯が付いて見栄えはいいのですが、ブックカバー装着の機械化を難しくしています。手作業で行うフィルムの貼り方は図1の通りですが、接着する糊がかなり強力なため、うっかりすると違う箇所貼り付けて本を台無しにすることもあります。また、慣れた専任の人が貼ると1冊2分程度で仕上がりますが、不慣れな人と

20~30分以上を要し、しかもフィルムと本の間には空気が入り込むなど、装幀の見栄えが悪くなる場合があります。便利なようで、反面やっかいな代物です。そのお陰で、当社のような装備受託会社が生き延びられる訳ですが…。

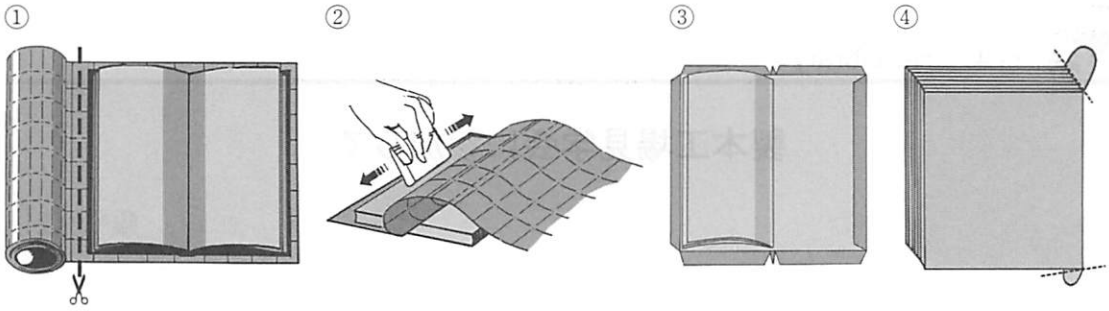
ブックカバーをかける作業は慣れるまでに時間がかかります。そこで当社は、本のフィルムでしっかり保護したいものの貼り付け作業は苦手だ、と言う素人（失礼）の方々のために、「ソフトPP」と「コリブリポケット」と言う製品を販売することとしました。

III. ソフトPPの特色

貼付直後の貼り直しが簡単にできるUVカット効果があるフィルムで、24時間後には糊が定着します。糊は有機溶剤を使用しない水溶性（pH値7.0中性）です。初めてブックカバー作業をされる方にお薦めで、作業手順は通常（貼り直しができないフィルム）と同じです。

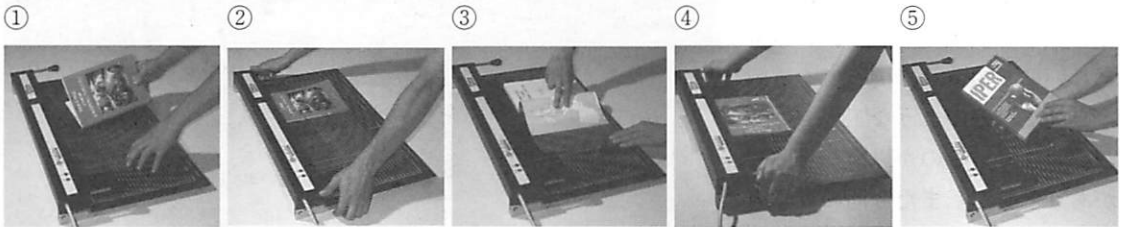
IV. コリブリ・ポケットの特色

コリブリ・ポケットは糊付きブックカバーに代わる新しい本の保存方法です。糊を全く使用せず本にピッタリサイズのカバーを特別な技術は必要なくどなたにでも簡単にかけることができます（図2）。糊を使いませんので帯を付けたままでもカバーがかけられ原本を損いません。また、カバーが汚れたり、廃棄の際には取り外しが可能で、大学図書館や企業の資料室・研究室で使用されています。関病記文庫糊作成ガイドラインでも紹介されています¹⁾。



- ① 本のサイズに折込分を見込みカットし、折込分は1～3cmの余裕をとる。
- ② 裏紙を5cm程は剥がし、折込分2～3cm程余裕をとり本に貼る。裏紙を剥がしながら柔らかい布や定規を使いゆっくりと貼る。裏表紙も同様にして貼る。
- ③ 四隅は対角線にカットして下さい。背の部分は背から3cmの位置に切り込みを入れる。
- ④ それぞれ折り込み、背の部分はカットする。

図1. ブックカバーのかけ方手順



- ① 本にあった大きさのカバーを選び、表紙をコリブリカバーのポケットに差し込みます。
- ② 本を閉じてコリブリカバーのあまった部分をコリブリマシンのスリットに差し込み左右のレバーを押しカットします。
- ③ 本のもう片方の表紙をコリブリカバーのポケットに差し込みます。
- ④ ②同様にあまった部分をスリットに差し込みます。
- ⑤ ビッタリサイズのカバーの完成です。

図2. コリブリブックカバーの手順

以上の製品を使っただけであれば、本の表紙の保護は完璧ですが、本紙のページが破れた場合はお手上げです。全ページをフィルムで保護することは現実的ではありません。そこで保護するよりも破れた箇所を補修することを主眼にして製造された超極薄透明紙テープ「プラストP」をはじめ、ページと綴りの箇所を補修する製品「補修クリアテープ」も取り扱っています。両テープの糊は水溶性の無酸性糊を使用していますので、黄変など経年変化が少なく人と環境にやさしく安心してお使いいただける素材です。特に「プラストP」は破れた箇所に貼り付けると、貼り付けてあることがほとんど気付かないほど、無色で透明な補修用品です。直接現

物を見ていただくとその効果にびっくりされると確信していますが、残念ながら文章での紹介のため、それを実感していただくことができません。一度文具店などで手にとってご覧いただければ幸いです。

参考資料

- 1) 健康情報棚プロジェクト. 闘病記文庫 棚作成ガイドライン. 東京: アイユー印刷; 2006. p.11.